

「みかたのミカタ」 マスターコーチ行動規範

◆ 「みかたのミカタ」 理念

- 1) 私たちは、親子の夢応援団です！
- 2) 私たちは、ワクワクしながら夢に向かって挑戦する子どもたちの応援団です！
すべての子どもたちが、自分の持っている才能に気づき、伸ばし、キラキラ輝くために、自分を好きになり、周りのみんなも好きになり、夢に向かってワクワク挑戦できる可能性を持っていることを信じています。
- 3) 私たちは、子どものキラキラ輝く鏡でありたい大人の応援団です！

◆ マスターコーチのあり方

- 1) 「教える、指導する」ではなく、「気づいてもらう、導く」という前提で発信する
- 2) 常に周りの人の夢を応援する**ドリームサポーター**である
- 3) どんな人にも**才能、魅力**があり、自分はそれを引き出し、伸ばすことができると**信じて**接する
- 4) 知識は、あくまでも目的を成し遂げるための手段であり、それに固執するのではなく、夢を応援する**有効な手段**として出し惜しみをしない
- 5) 主張、意見、考え方はその人自身の観念であり、人それぞれの観念のでき方、背景が違うためそもそも「違う」ことを前提に、**受容するマインドを追求**する
- 6) 相手を**快**にすることに徹する。そのために自分が快でいることを追求する
- 7) 自分の中にある**可能性を信じ**成長し続ける姿勢を持っている

「みかたのミカタ」 マスターコーチ行動規範

.....

◆ 「みかたのミカタ」を伝えるということ

- 1) 受講生をはじめ関わる人に対して「教育する」「教える」「変える」という前提で接するのではなく、気づくきっかけを提供する、可能性を信じ、見つけ、サポートするという前提で接すること
- 2) 受講生がドリームサポーターになることに喜びを得られるように、自分自身が夢を応援するドリームサポーターでい続けること
- 3) 誰でも才能、魅力があり、それを引き出すことができる信じられるように、受講生の才能、魅力を全面的に信じて接すること
- 4) 知識を提供するのではなく、価値、感情、想いを提供すること
- 5) いい、悪いの判断（ジャッジ）をするのではなく、自分との違いを客観的に受容し、受講生のなりたい姿と現状の間にある葛藤に気づいてもらうということ
- 6) 「マスターコーチのように気分良く過ごしたい」と肌で感じるができるように自分自身がゆめいくを実践し追求している姿勢を見せること
- 7) どんな人でも、どこからでもなりたい自分に近づけるということを自身の可能性を持って証明し続けるということ

◆ 研修参加の姿勢

- 1) あなたの参加の姿勢が、あなたの教室に来る人の参加姿勢
自分の教室の受講生にはどんな風に参加してほしいかを常に考え自分がまず行う
- 2) 受講者ではなく、創造者。
誰かに伝えること、場を作ること、人と人が繋がることを意識する
- 3) 自分と違う価値観にどう対処するかアンテナを
誰かの考え方に触れた時に、自分のそれと違うことに気づいた！発見した！という姿勢を持つ